



清水小だより

令和7年6月30日

八王子市立清水小学校

校長 荒井 雄一

No.4 7月号

学校だよりはホームページにも掲載しています。

八王子市立清水小学校 検索

体験を通し体全体で学ぼう

校長 荒井 雄一

毎年、我が家では春の恒例行事として田植えの手伝いを行っています。毎年、学校便りでも話題にしているのですが、今年も6月初旬に私の実家の田んぼに親戚の方たちが集まり、田植えを行いました。

今年は社会人の長男、次男も休日だったので手伝いました。事前に父や叔父が田植え機で大部分は植えてくれていますが、田んぼの四隅は植えることができません。また、田植え機ではうまく植えきれなかったところもあります。私たちは手に苗をもち、田んぼに入って、その部分を手植えしていくわけです。田んぼの中は歩きにくく、ぐいっと腰を落として田植えをすると足腰にきて、なかなか骨が折れる作業です。そんな中でも息子たちは、もう何年も手伝っていますので、慣れたものでテキパキと田植えをしています。その姿を見て頼もしく、心強く感じ、一緒に田植えができることの喜びをかみしめました。田んぼ一面にびっしりと植えられた苗が風に吹かれて揺れる景色と一緒に眺めながら、家族や親戚の方々と一休みする時間は私にとっては至福の時間となりました。その後、田植えが終わったことを祖父や祖母に報告しに、お墓参りをみんなで行いました。きっと、立派に成長したひ孫の姿を見て祖父も祖母も御先祖様も喜んでくれるのではないのでしょうか。

さて、本校でも5年生が6月12日に地元の農家の方に教わりながら、田植えを行いました。苗の植え方を教えてもらい、いよいよ、グループごとに田んぼの中に足を踏み入れて、田植えを始めます。おそるおそる田んぼへ足を入れ、ぐいっと腰を落として、苗を4.5本ずつ、丁寧に植えていきます。徐々に苗を植えるコツをつかんでいき、丁寧に手際よく苗を植えていく子たちもいます。中には田んぼの泥に足を取られて、動けなくなった子や尻もちをつきそうになる子もいました。

(田植えの様子はHPの学校日記にアップしていますので御覧ください。)

子どもたちは田植え体験を通して、体全体を使って、米作りについて学んでいました。これから、水の管理や雑草抜き、害虫対策をし、秋には立派に実った稲穂を稲刈りできるように活動していきます。このように、5年生は社会科や総合的な学習の時間で米作りについて学習しています。今、日本ではお米の価格がとても上がっていて、私たち消費者にとっては切実な問題ですが、どうしてこのような問題が起こっているのでしょうか？5年生の子どもたちには、そうしたことについてもしっかり目を向けながら、稲作体験を通して、様々なことを自分事として考え、学んでいってほしいと思います。このような貴重な体験ができるのも、地域の皆様の御協力があるおかげです。ありがとうございました。

5年生だけでなく清水小全学年で体験学習を重視し、子どもたちが自分事として課題を捉えて、様々な学習を行ってまいります。



いのちの大切さを考える日

皆さんはひとりぼっちではなく、皆さんのことをちゃんと思っている人がいて、皆さんのことが必要だと思っている人がいます。家族であり、友達であり、先生たちであり、地域の方々であり、みんなに関わりのある人たちです。

どうしてもなくつらいときや、悩んで苦しいときは、そんな人たちのことを頼ってください。もう一度、言います。皆さんは決してひとりぼっちではありません。つらいことや悩みを、そばにいる家族、友達、先生、大人の人たちに勇気をもって話してみましょう。

皆さんはこの世の中でたった一人のかけがえのない存在です。だからこそ、たとえ、どんなにつらいことがあっても何があっても、大切な命は、皆さん一人一人がしっかりと守ってほしい。自分で自分の命を傷つけることは絶対あってはいけません。

そして、自分の命だけでなく、周りのみんなの命も大切にしてほしい。人の気持ちは傷つきやすく、「え、これぐらいで」ということでも、すごく悩んだり、いやな気持ちになったりします。だからこそ、友達に対して、周りの仲間に対して、普段から優しい言葉で、優しい態度で、仲良く過ごすことが大事なのです。(校長より)

美 化 週 間

学校公開時での全校草取り活動に御参加いただき、ありがとうございました。子どもたちが学校のために積極的に活動し、思った以上の草を取り除くことができました。また、草だけでなく、多くのゴミまで見つけ取り除くことができ、保護者の皆様や子どもたちの力を改めて感じられる時間になりました。

7月の第1週目は、普段の清掃の時間を使って、「普段掃除していない場所を、いつもより丁寧に掃除する」をめあてに取り組めます。「きれいにすると気持ちが良い。」と、子どもたちが気付き、学校をきれいにしようという気持ちが育って欲しいと考えています。

水 泳 指 導

水泳の授業では、泳法の指導の他に、安全確保につながる運動についても指導しております。御家庭でも夏休みに向けて、水泳の学習内容の復習や、気を付けることを改めて確認していただければと思います。

水遊びには十分気をつけましょう！

令和6年の夏期(7月～8月の2か月をいいます。)における水難者は601人でした。そのうち、中学生以下は、105人でした。暑い時期だからこそ、楽しい水遊びですが、夏休み中などのスロープや川、海などに遊ぶに行く際には、以下の点に気を付けてください。

- ・川や海に行くときは、ライフジャケットの着用を推奨します。
- ・川や海には、子どもたちだけでは行きません。
- ・十分に水分補給をして、熱中症には、十分気を付けてください。

暑 さ 対 策

暑い日が続いております。首を冷やすタオル・クールリングなど、持たせても構いません。授業中に遊んでしまうことがありましたら、ランドセルにしまうように指示することもあります。また、御家庭に帽子がありましたら、被らせて持たせてください。水筒の飲み物も、お茶、水、(スポーツドリンクも可)を持たせてください。熱中症対策に、ぜひ御協力ください。